

平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	災害時のロジスティクスに関する調査研究		担当部局庁	国土交通政策研究所		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H24		担当課室	—		研究調整官 松永 康司		
会計区分	一般会計		政策・施策名	9 市場環境の整備、産業の生産性向上、消費者利益の保護 30 社会資本整備・管理等を効果的に推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	東日本大震災からの復興の基本方針				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3程度以内)	過去の大規模災害における支援物資のロジスティクスの課題・教訓を整理・分析し、支援物資のロジスティクスで中心的な役割を担う地方公共団体の担当者が、事前準備と発災後の対応を検討する際に参考資料となるような手引きと、手引きの内容を具体化したツールを作成、提供することにより、今後発生が予想される大規模災害(首都直下地震、南海トラフ巨大地震等)において、関係者の連携のもと適時適切に支援物資が届けられることを可能とする円滑なロジスティクスの確立を支援する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	支援物資のロジスティクスに関して、過去の大規模災害において顕在化した課題・教訓を整理・分析し、現状の地方公共団体における取組状況について、アンケート、ヒアリング調査を実施し把握する。把握した結果をもとに、支援物資のロジスティクスで中心的な役割を担う地方公共団体の担当者が、事前準備と発災時の対応の検討に際し参考資料となる手引きを作成する。また、手引きの内容を具体化し、関係者間で物資情報・輸送情報を一元化・共有化できるツールを作成する。作成した手引き・ツールの有用性について、有識者・地方公共団体へのヒアリングを実施した後公表し、円滑な支援物資のロジスティクスの確立を目指す。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算			13			
		繰越し等			—			
		計			13			
	執行額				11			
	執行率(%)				90.9%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (24年度)
	調査検討の報告数		成果実績	件	—	—	1	1
			達成度	%	—	—	100%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	調査検討の報告数		活動実績 (当初見込み)	件	—	—	1	—
					(—)	(—)	(1)	(—)
単位当たりコスト	11(百万円/件)		算出根拠					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
				平成24年度限りで廃止することとされた事業であるため。				
	計	—	—					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	現下の情勢に鑑み、国土交通行政に関する喫緊の課題を対象としたものである。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—	契約の相手方を特定する際に、企画提案方式を取り入れることで競争性を確保している。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
事業の有効性	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業の目的に照らして適切に活動しており、その結果終了年度において一定の成果を得ることができた。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—			
重複排除	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
重複排除	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	研究内容の重点化・事業効率・コスト等の観点からも適切に執行している。					
外部有識者の所見						
本事業は昨年度研究成果を得られる見込みであったので、昨年度をもって廃止とされていたものである。他省庁・他組織にも関連研究がある。それらを踏まえ、研究成果を公表未了であれば早期に公表すべき。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業本体的改善	事業完了に伴い廃止。研究成果の公表等により実際の事業に活用すべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
—	24年度で廃止					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	—	平成23年	新24-2047	平成24年	1040	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

国土交通政策研究所
11百万円

研究全般、総合調整、予算の執行管理、
業務発注等を行う。



A. 民間企業(2社)
11百万円

文献整理、アンケート・ヒアリング調査、
手引き・ツールの作成等を行う。

諸謝金
0百万円

職員旅費
0百万円

委員等旅費
0百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.株野村総合研究所			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	調査研究	10			
計		10	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	㈱野村総合研究所	文献整理、アンケート・ヒアリング調査、手引き・ツールの作成等を行う。	10	随意契約 (企画競争・ 7者応募)	97.9%
2	㈱創造経営センター	アンケート調査のデータ入力等を行う。	1	随意契約	—
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					